

ヴィッラ・マダマの ロτζャ装飾

—メディチ家教皇の理想図像—

ヴィッラ・マダマは、現在イタリア外務省の管轄下で迎賓館として使用されている、ローマ市街地の北西部にあるモンテ・マリオの中腹に建つ建築である。本書は、建築史的観点から注目されることが主流であったヴィッラ・マダマに関して、その内部装飾を対象に考察を行い、これまでの研究で指摘されたことのないヴィッラのロτζャ内部における装飾プログラムの存在を明らかにし、施主である教皇レオ十世と枢機卿ジュリオ・デ・メディチの治世と美德を称揚するための図像体系が構成され、メディチ家のふたりの君主による治世の繁栄が表現されているという解釈を導き出す研究成果の公刊である。

深田麻里亜（東京藝術大学非常勤講師）著

A5判上製函入 本文416頁 カラー口絵8頁 本体価格16,000円＋税

ヴィツラ・マダマのロτζジャ裝飾 —メディチ家教皇の理想図像—

深田麻里亜 著

本体価格16,000円+税

A5判上製函入 本文416頁 カラー口絵8頁 ISBN 978-4-8055-0783-4 C3071

- 序
- 第一章 総論
- 一 教皇レオ十世と枢機卿ジュリオ・デ・メディチ
 - 二 ヴイツラ・マダマの建設と裝飾
 - 三 裝飾に関する先行研究
- 第二章 中央径間
- 一 裝飾システム
 - 二 「四季」と「四大元素」
 - 三 宇宙的秩序の表象とメディチ家称揚の図像
- 第三章 左廊
- 一 左廊の構造と裝飾
 - 二 ヴォールトの《ネプトゥヌス》
 - 三 ヴォールトの楕円形物語場面—戯れるアモルたち
 - 四 ヴォールト裝飾における教皇レオ十世称揚の図像
 - 五 エクセドラ半円ドームの裝飾
- 第四章 右廊
- 一 右廊の構造と裝飾
 - 二 《ガラテア》のストウツコ浮彫
 - 三 南東側壁面エクセドラのストウツコ浮彫連作
 - 四 《ポリュフェモスとガラテア、アキスの物語》
 - 五 ヴォールトの楕円形物語場面
- 第五章 庭園の《象の泉》
- 一 はじめに
 - 二 《象の泉》裝飾の再構成
 - 三 象のシンボリズム
 - 四 『ポリュフィロの夢』との関連性
 - 五 おわりに
- 結論
- 付録一 アトリウム浮彫《パンの懲罰》
- 付録二 ジュリオ・デ・メディチの
マリオ・マップフェイ宛書簡—翻訳と解題
- あとがき
- Summary
- 参考文献一覧
- ヴィツラ・マダマに関する一次史料原文一覧
- 図版一覧

【著者紹介】

深田麻里亜（ふかだ・まりあ）

2004年、東京藝術大学美術学部芸術学科卒業。2006年、東京藝術大学大学院美術研究科芸術学（西洋美術史）専攻修士課程修了。2007～2009年、ローマ大学「ラ・サビエンツァ」文哲学部留学。2012年、東京藝術大学大学院美術研究科芸術学（西洋美術史）専攻博士課程修了、博士号〔美術〕取得。2012～2013年、東京藝術大学美術学部教育研究助手。2013～2016年、日本学術振興会特別研究員（PD）として、立教大学文学部特別研究員。2015年より、東京藝術大学非常勤講師。

《関連書籍》

西洋美術論考

本体価格 43,000 円+税

越 宏一 著

本書は、ウィーン学派オットー・ペヒトに師事し、ライヒエナウ壁画の総合的研究で著名な著者が、西洋古代末期・中世から近代までの美術について、その時々発表した論考・エッセイの集成であり、様式的・図像学的課題を実証的に論証した労作である。

B5判上製函入 口絵16頁 本文746頁 図版569点
ISBN 978-4-8055-0409-3 C3071

叡智の建築家

本体価格 9,000 円+税

桑木野幸司 著

建築史、美術史、科学史、哲学、文学の各領域を横断する独創的研究成果から、初期近代ヨーロッパ建築文化における創造的関係を明らかにする。地中海学会ヘレンド賞受賞のイタリア語版を、著者自ら改稿した日本語オリジナル版。

A5判上製カバー装 口絵8頁 本文544頁 図版62点
ISBN 978-4-8055-0712-4 C3052

お取り扱い

中央公論美術出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-10-1

IVYビル6F

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798